

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		工業 土木構造設計		単位数	2
対象学年・組		3学年都市工学科	教科担任	CA:加藤	
教科書・副教材		土木構造設計 なし			
1. 目標 土木構造物の設計に関する知識と技術を習得させ、構造物を安全で合理的に設計する能力と態度を育てる。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	①土木構造物のあらまし ②材料と扱い方	土木構造物の種類や設計のあらまし、材料の性質、荷重などについて学ぶ。		4
	5	①設計に用いる荷重 ②鋼材の加工	橋の設計を例に、設計に用いるおもな荷重をまとめる。また、使用する鋼材の加工方法について整理する。		6
	6	H形鋼を用いた道路橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、H形鋼を用いた道路橋の主桁を選定し、安全照査をおこなう。		8
	7	H形鋼を用いた道路橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、H形鋼を用いた道路橋の主桁を選定し、安全照査をおこなう。		4
	1 学期授業時数計				22
2 学 期	9	プレートガーダー橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、プレートガーダー橋の設計、安全照査をおこなう。		8
	10	プレートガーダー橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、プレートガーダー橋の設計、安全照査をおこなう。		8
	11	プレートガーダー橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、プレートガーダー橋の設計、安全照査をおこなう。		6
	12	プレートガーダー橋の設計	道路橋示方書の基準と許容応力度設計法により、プレートガーダー橋の設計、安全照査をおこなう。		6
	2 学期授業時数計				28
3 学 期	1	鉄筋コンクリート構造物の構造	鉄筋コンクリート構造物としての柱、単鉄筋長方形梁、床版およびT形梁の構造を学ぶ。		3
	2				
	3				
	3 学期授業時数計				3
年間授業時数合計					53
3. 評価の観点・方法 ・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1, 2 学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1, 2 学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。					